



2022-23 年度テーマ

第 2670 地区

宿毛ロータリークラブ会報



■会長	有田 裕彦
■幹事	池 和明
■S A A	田淵 満博
■クラブ奉仕委員長	岡崎 利久
■職業奉仕委員長	岡崎 利久
■社会奉仕委員長	西田 教世
■国際奉仕委員長	秋澤 誠
■青少年奉仕委員長	西岡 弘徳

■例会日：毎週木曜日 12:30~13:30
 ■例会場：宿毛市幸町 秋沢ホテル
 ■事務所
 〒788-0003 高知県宿毛市幸町 6-43
 TEL 0880-63-3416 FAX 0880-63-3417
 URL sukumorc-test.m-quartz.com
 E-Mail sukumorc@mb.gallery.ne.jp

例会報告 第2764回 令和4年11月8日（火曜日） 天気：晴

■例会司会：
 ■開会点鐘：四万十 RC 会長
 ■Rソング：我等の生業
 ■お客様：3RC 合同米山奨学生卓話

四つのテスト 言行はこれらに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

■プログラム 米山奨学生卓話

ゲストスピーチ イ・ホンナム様(米山奨学生)



した。始めには6ヶ月くらい塾で留学向けの受験勉強を通して勉強のやり方を学び、残りの6ヶ月は1人で勉強するようにしました。

1年間後、試験の結果、良い成績がとれました。しかし、大きい問題が発生しました。田舎で1人で準備していたため、試験結果が出る前に志願書を用意しておく必要があることを知らなかったのです。

今から準備しようとしても、志願書をお願いできる知り合いが日本にいないことも大きい問題でした。成績が良くても、大学に進学できないとわかり絶望しましたが、たまたま「高知大学」に留学を準備していた人が成績の関係上、高知大学に志願できなくなっていました。私はその人から高知大学の志願書をもらい、高知大学に志願し、大学内部の試験と面接を通して堂々と合格することができたのです。

高知大学に留学した私は1年の時には「必ず、旧帝大の院に進学しよう」と思っていたのですが、3年の時、現在所属している研究室の先生と出会い、「この先生と一緒にやって行きたい！」と思うようになりました。

人生って「その時々最高の選択」をしていけば、本当に良い結果に会えるなと思いました。それでは、皆さんのおかげで、大学で研究をしている事について少し紹介します。

現在、大学では極低温での研究とそれによる物質の特性(磁性)をみる研究をしています。僕が所属している研究室ではほぼ0[K]を達成しました。0[K]は-273℃を意味します。

宇宙の平均温度が-270℃ですので、ものすごく低い温度です。「打ち水」をご存知だと思います。夏に道沿いや庭などに水をかけて、涼しくする行為です。涼しくなる理由は液体の水が気体になって蒸発する時、周りからエネルギー(潜熱)を奪って蒸発するからです。この「打ち水」などのポイントを利用すれば、極低温まで冷やされる原理について理解することができます。

次にヘリウムは4.2[K]で液体状態になります。この時、液体の状態であるヘリウムが入っているところを真空状態にすると、液体ヘリウムは圧力が下がることにより沸点が下がり、4.2[K]より低い温度であっても蒸発するようになります。液体ヘリウムが蒸発することでその空間の潜熱を奪い、極低温が実現できるようになるということです。

そんな事の研究をしていますが、最後に、私は物理は美しいと思っています。物理は難しいと思

「本一冊から日本へ」

このような発表の機会を与えて頂きありがとうございます。まずは韓国の田舎出身である私がなぜ日本に来たのかについて話します。

高校生の時「進路がまだ決まってないのなら、まず図書館へ」という先生からの助言が人生を大きく変えました。

私の母校は居昌高等学校で韓国の真ん中にある地域です。居昌高等学校を選んだ理由は、修学能力試験の国語・英語・数学の成績が全国2326校の中で40位だったからです。つまり、有名な進学校であるため、入学条件は中学校での成績が上位1%以内という厳しい条件でした。

韓国には大きく二つの方法で大学に進学します。一つ目は随時(すし)で、二つ目は定時(じょんし)です。

随時は学校の成績、内申書、面接で大学に進学する方法で、定時はセンター試験一発で大学に進学する方法です。上位の大学であればあるほど定時の割合が多いです。しかし、国としては試験一発で大学に進学することは、学校生活や公教育の面としては良くないため、定時の割合を徐々に減らしています。

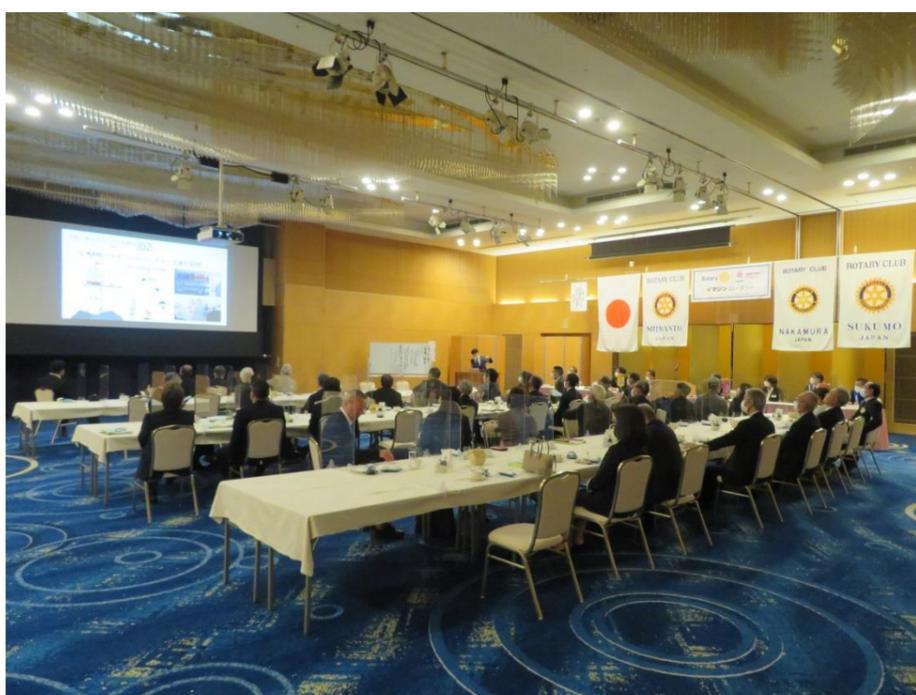
私の進路について悩んでいる時、図書館で「rocketの話」という本を見つけました。この一冊の本から私の人生の基になる名言を見つけました。「昨日の夢は、今日の希望であり、明日の現実である」という言葉に感銘を受け、作者の航空宇宙研教院の博士に会うことができました。

博士から「物理は海外で学んだ方が良い！」と言われ、日本に留学をすることを決め、勉強しま

うかも知れませんが、学問自体が自然現象を理解するための学問であるため、知れば知るほど美しくみえます。

ぜひ、皆さんも物理を再び勉強してみるのはいかがでしょうか。

本日はご清聴ありがとうございました。



■出席報告

47.62%